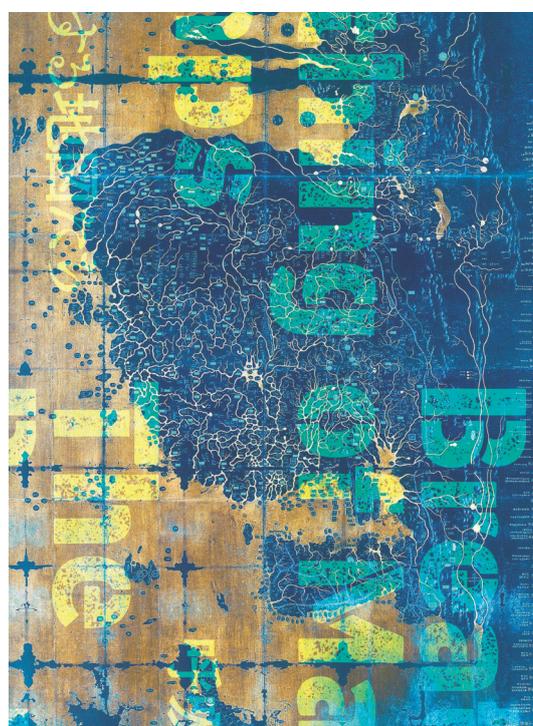


山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

マーク・テ+YCAM 共同企画展
呼吸する地図たち2018年12月15日(土)～2019年3月3日(日) 10:00～20:00 入場無料
山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB

アジアのアーティストとともに、私たちの暮らす日本を読み解き直す

山口情報芸術センター [YCAM] では、マレーシアを拠点に活躍する演出家、リサーチャーのマーク・テをゲスト・キュレーターに迎え、展覧会「呼吸する地図たち」を開催します。近代化の象徴的産物としての「地図」は、アジアにおいて国家の主権、文化、経済、そして日常生活の劇的な変容を表出し、近代特有の空間概念や共同体意識を生み出す視覚的装置として機能してきました。タイの歴史学者であるトンチャイ・ウィニッチャクンは、西洋の技術によってもたらされた「地図」によって、近代国家としてのタイの国民意識が形成されてきたと指摘し、その概念を「地理的身体」と称しました。本展では、「地図」によって規定されてきた「地理的身体」を静的なものとして捉えず、「地図」と「地図」の間にある社会の変容を読み解き、人間のアクチュアルな身体的活動の集積から形づくられる「生きた地理的身体」を探求するものです。展覧会では、東南アジアと日本のアーティストやリサーチャーたちが、それぞれの視点から幅広い社会的事象を捉え、自身の言葉によって語るレクチャーやレクチャー・パフォーマンス作品を12週にわたり開催するほか、インスタレーション作品も公開します。くしくも本年、日本は明治維新から150年の節目を迎えています。近代化の起点の一つともなった山口において、新たな「地図」を描き出すことを目指します。ぜひこの機会にご覧ください。



「呼吸する地図たち」メインビジュアル
デザイン：尾中俊介 (Calamari Inc.)

※本展は、国際交流基金アジアセンターと共同で主催するものであり、アジアセンターが2015年より取り組む、東南アジアと日本のキュレーターによる共同キュレーション事業「Condition Report」の成果の一環として開催するものです。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

レクチャー・パフォーマンスを軸に、レクチャーやワークショップなどを随時開催！

会場では、東南アジアと日本のアーティストやリサーチャーたちが、各国の歴史、文化、政治、経済、具体的な日常生活など幅広い社会事象を独自の視点でリサーチし、自らの言葉で語りかけるレクチャー・パフォーマンス作品を中心に、映像インスタレーションやドキュメント映像などを合わせて展示します。

■ イベント・スケジュール

12月15日(土)

10:00～17:00(予定)

パフォーマンス「カット・グラス・ピース(草を刈る作品)」

チ・トゥー (アーティスト)

会場：山口市中央公園 (YCAM前)

※事前申し込み不要

※天候により中止の場合は、YCAMのウェブサイトで告知します

16:00～17:00

キュレーターズ・レクチャー

マーク・テ (演出家、研究者)、井高久美子 (YCAMキュレーター)

※英語・日本語

18:00～19:00(終演予定)

レクチャー・パフォーマンス「アジア・ザ・アンミラキュラス」

ホー・ルイアン (アーティスト)

※英語・日本語字幕あり

12月16日(日)

10:00～17:00(予定)

パフォーマンス「カット・グラス・ピース(草を刈る作品)」

チ・トゥー (アーティスト)

会場：山口市中央公園 (YCAM前)

※事前申し込み不要

※天候により中止の場合は、YCAMのウェブサイトで告知します

11:00～12:00

レクチャー

「知るべきことは何もない：トーマス・ラッフルズ ジャワの地図と帝国認識論」

ファリッシュ・ヌール (歴史学者)

※英語(日本語逐次通訳あり)

18:00～19:00(終演予定)

レクチャー・パフォーマンス「アジア・ザ・アンミラキュラス」

ホー・ルイアン (アーティスト)

※英語・日本語字幕あり



チ・トゥー「カット・グラス・ピース(草を刈る作品)」

Photo by Sakiko Yamaoka



ホー・ルイアン「アジア・ザ・アンミラキュラス」

■ イベント・スケジュール

12月22日(土)

15:00～16:30(終了予定)

レクチャー「人類館と博覧会」

小原真史(キュレーター)

※日本語

18:00～19:00(終演予定)

レクチャー・パフォーマンス

「なぜ私はここにいて、彼女たちはあそこにいるのか～からゆきさんをめぐる旅～」

西尾佳織(劇作家)

※日本語



西尾佳織「なぜ私はここにいて、彼女たちはあそこにいるのか～からゆきさんをめぐる旅～」

2019年1月12日(土)

18:00～19:00(終演予定)

レクチャー・パフォーマンス「ネーム・ロンダリング」

イルワン・アーメット&ティタ・サリナ

※インドネシア語(日本語対応あり)

1月19日(土)

18:00～19:00(終演予定)

パフォーマンス「通訳を手伝ってくれませんか？」

オクイ・ララ(アーティスト)

※英語、ミャンマー語、日本語



オクイ・ララ「Let's Eat and Drink tea!」

1月26日(土)

18:00～19:00(終了予定)

レクチャー「マッピング・カルチャー：変化の理解とマネージング」

ジャネット・ピレイ(社会学者)

※英語(日本語逐次通訳あり)

2月9日(土)、10日(日)、11日(月・祝)

11:00～18:00(予定) ※お昼休憩あり

リサーチ・ワークショップ「海賊スタディ」

高山明(演出家)

定員：15名

参加条件：15歳以上、3日間通して参加可能な方、1月12日(土) イルワン・アーメット&ティタ・サリナによるレクチャー・パフォーマンス「ネーム・ロンダリング」をご覧いただける方が望ましい

※要事前申し込み(締め切り：1月5日[土])

※日本語のみ



ジャネット・ピレイ「マッピング・カルチャー」

■ イベント・スケジュール

2月23日(土)

18:00～19:00(終了予定)

レクチャー「ヒューマン・スプリング」

志賀理江子(写真家)+清水チナツ(インデペンデントキュレーター)+長崎由幹(映像制作)

※日本語

2月24日(日)

11:00～12:00(終演予定)

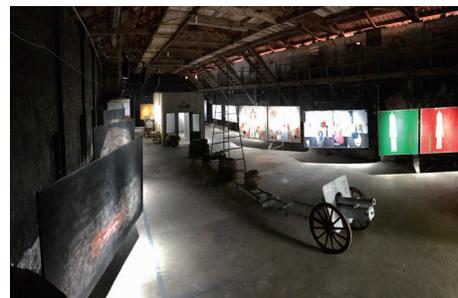
レクチャー・パフォーマンス

「アジアを歩く Jalan-jalan di asia」

古市保子(国際交流基金アジアセンター美術コーディネーター)

演出:マーク・テ

※日本語



古市保子「アジアを歩く Jalan-jalan di Asia」

12月17日(月)～2019年3月3日(日) *土曜、2/10(日)を除く

17:30～18:30(終了予定)

映像ドキュメント上映

イントラムロス・パフォーマンス・ツアー「Walk This Way」

カルロス・セルドラ(パフォーマンス・アーティスト)

※英語



カルロス・セルドラ「Walk This Way」

■ 通期展示

2018年12月15日(土)～2019年3月3日(日) 10:00～20:00

火曜、年末年始(12/29～1/3) 休館 入場無料

「ピカ-boo」 チ・トゥー (アーティスト)

「独白」 ヴァンディ・ラッタナー (アーティスト)

「アジア・ザ・アンミラキュラス」 ホー・ルイアン(アーティスト)

「Urbanized Typeface」 やんツー (美術家)

3がつ11にちをわすれないためにセンター

展覧会「記録と想起・イメージの家を歩く」より

「波のした、土のうえ」小森はるか+瀬尾夏美/「沿岸部の風景」鈴尾啓太/「沿岸部の風景記録」藤井光

そのほか、参加アーティスト、リサーチャーによる、レクチャー・パフォーマンス、レクチャーに関連したドキュメント作品などを展示します。



やんツー「Urbanized Typeface」

開催概要

マーク・テ+YCAM 共同企画展 「呼吸する地図たち」

2018年12月15日(土)～2019年3月3日(日) 10:00～20:00

火曜、年末年始(12/29～1/3) 休館

入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB

【ゲスト・キュレーター】

マーク・テ (演出家、研究者/マレーシア)



撮影: Anastasia Sai

マレーシアを拠点に活動するアーティストやアクティビスト、プロデューサーたちの共同体「ファイブ・アーツ・センター」のメンバーとして活動。さまざまなプロジェクトを通して、特に歴史、記憶、都市文脈といった問題を考えてきた。そのコラボレーション・プロジェクトは主にパフォーマンスや教育活動の形で実践されるが、展覧会やニューメディア、執筆活動、アート・インターベンションといった形態をとることもある。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジで芸術政治学の修士課程を修了。

【アーティスト/リサーチャー】

イルワン・アーメット&ティタ・サリナ (アーティスト/インドネシア)、カルロス・セルドラ (パフォーマンス・アーティスト/フィリピン)、チ・トゥー (アーティスト/マレーシア)、ファリッシュ・ヌール (歴史学者/マレーシア)、ジャネット・ピレイ (社会学者/マレーシア)、ヴァンディ・ラッター (アーティスト/カンボジア)、オクイ・ララ (アーティスト/マレーシア)、ホー・ルイアン (アーティスト/シンガポール)、小原真史 (キュレーター/日本)、志賀理江子+清水チナツ+長崎由幹 (日本)、高山明 (演出家/日本)、西尾佳織 (劇作家/日本)、古市保子 (国際交流基金アジアセンター美術コーディネーター/日本)、やんツ (美術家/日本)、3がつ11にちをわすれないためにセンター (せんだいメディアテーク) 「記憶と想起・イメージの家を歩く」展より 小森はるか+瀬尾夏美/鈴尾啓太/藤井光

主催: 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団、国際交流基金アジアセンター

後援: 山口市教育委員会

協力: 3がつ11にちをわすれないためにセンター (せんだいメディアテーク)

助成: 平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

共同開発: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]



イベント申込方法

レクチャー・パフォーマンス/

レクチャー/パフォーマンス

料金: 入場無料

座席: 50席

申し込み締切り: 各回の前日まで

※立ち見の場合は申し込み不要

※空席があれば当日受付可能

リサーチ・ワークショップ

料金: 参加無料

定員: 15名

申し込み締切り: 1月5日(土)

参加条件: 15歳以上、3日間通して参加可能な方、1月12日(土) イルワン・アーメット&ティタ・サリナによるレクチャー・パフォーマンスをご覧いただける方が望ましい

下記ウェブサイト内に用意された申し込みフォームから、必要事項をご記入の上お申し込みいただくか、YCAM1階チケットインフォメーションにて直接お申込みください。なお、座席数や参加人数の定員に達し次第、締め切らせていただきます。

URL:

bm.form.ycam.jp

日本語のみのレクチャーに関して

10日前までの事前申し込みの場合に限り、ウィスパリングでの英語通訳の提供が可能です。お申し込みの際に、フォームにご記入ください。